

しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり
市 民 会 議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
平成 28 年 5 月 20 日

ワンランク上の商業施設に

イオンモール交通渋滞などの不安も

2015年いわき市小名浜地区中心市街地活性化に向けた街づくり基礎調査と、小名浜に住む市民の購買実態調査が行われ、その結果が報告されました。イオンモールに対してはワンストップ型の魅力的な拠点として期待される一方、完成すると既存の商店街やタウンモールリスポなどは厳しい競争が懸念されそうです。



タウンモール・リスポ イメージパース

まちづくりステーション小名浜 イメージパース



汐風竹町通りイメージパース

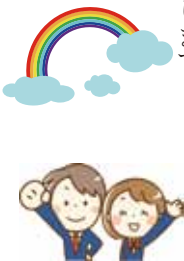
小名浜に必要な機能は？



調査は405人を対象に実施。小名浜は、生活エリアとして一定の機能や施設が存在する一方、今後は商業・居住・医療・福祉・教育など、様々な機能の拡充や質の向上が求められています。小名浜に必要な機能としては、医療施設33・1%、市民ホール23・0%、図書館

17・3%、ホテル16・0%が上げられています。またあつたら乗りたい公共交通としては、循環バスが45・2%、鉄道30・1%、高速バス24・7%などとなっており、まちなかを循環するバスの導入が効果的と考えられます。

小名浜に住む市民が参加するアクアマリンパーク内のイベントは花火大会のみが過半数を占めました。また隣接するアクアマリンふくしま、いわきら・ら・ミュウ、小名浜美食ホテルの利用頻度も低く、パーク全体の魅力や機能の強化が必要となりそうです。建設が予定されているイオンモールに対しては、買い物の幅が広がり、ワンランク上の商業施設としての期待が高まっています。その一方で、交通渋滞や駐車場の不足、イオンモールとの競合により馴染みの地元商店の消滅や治安に対し不安を感じる人もいました。小名浜まちづくり市民会議としては、これらの調査結果を踏まえ、まちづくりの重要課題を見極め、今後笑顔あふれるH・O・Tな小名浜を目指し、まちづくりを展開していこうと考えております。



4月全体会議

4月28日、まちづくりステーション小名浜において、会員約30名の参加のもと、4月全体会議が開催されました。

今回は、元国土交通省小名浜港湾建設事務所所長で現在は株式会社カズレールウエイ代表取締役の田中一弘氏をお招きして「私が見たこれからの小名浜像」と題しての講演会でした。全国的な人口減少傾向の中で地域の活力を維持していく1つの方向付けとして外国人観光客の誘致が有効であり、東日本大震災の被災地としての経験や福島原子

力発電所事故の経験等を活かした情報発信を活用して、インバウンドの流れを構築していくことが望ましの提案がありました。イオンモールの進出については、地域として共存できるように現在の小名浜の地力を上げておくことが必要不可欠との意見がありました。講師は、鉄道に造詣が深いこともあり、小名浜への鉄道誘致に関する質問が会員から出されましたが、鉄道路線の運営だけでは経済性に乏しく、そこには何かのエッセンスを加えて継続性を持たせられる工夫が必要との私見が披露されました。

小名浜学事始め

◇ 鯉船模型 ◇

昭和30年代、漁業活況で賑わっていた小名浜には「又新・藤社・田畑・飛田・柳内・藁谷」の木造船所がありました。新造船は大漁旗で飾り付けられ、進水式が華やかに行われていました。船主の事務所や自宅には船の写真や模型がありました。今回紹介するのは明治43年(1910)製作の鯉船模型。製作者は米野村の(現在小名浜古湊地内)の馬上久七。安政元年(1854)に生まれ慶応3年

(1867)ころは農業のかたわら船大工をしていた方です。同模型は材料も本体に使用した木材を使い、櫓(ろ)・櫂(かい)・帆(ほ)まで緻密に仕上げられており、江戸時代の和船(鯉船)を知る歴史資料として、平成13年にいわき市有形民俗文化財の指定を受けました。



浜風にたなびく大漁旗

5月3日、小名浜諏訪神社の「神輿渡御」に合わせ、「どんとやれ大漁旗」が開催されました。

小名川沿いには150枚の色とりどりの大漁旗が飾られ、彩り豊かで迫力あるものでした。水面には米俵を乗せた小舟を浮かべ川や港のまつ歴史を伝えていました。

小名浜高校や海星高校の生徒による太鼓の演奏やじゃんがら念仏踊り等の披露もあり、まさに住む若者



もまつりの盛り上げに一役かかっていました。来場者からは「連休中に地元でこういうお祭りが開かれるのはとても嬉しい」「小名浜でいろいろないイベントがあるのを初めて知った。今後もっとやってほしい」という声が聞こえてきました。

祭りには花を添えるーしあわせのれんー

5月3日4日の両日、『しあわせのれん』で小名浜諏訪神社、小名浜鹿島神社の御神輿が迎えられました。しあわせのれんとは、御本多葬祭さんが石川県七尾市の花嫁のれんをヒントに、不要になった、または被災して処分寸前の反物を仕立て直し再び命を吹き込んだ暖簾(のれん)のことです。シャッターが目立つ小名浜の商店街を少しでも明るく華やかに、そして港まち全体の復興を願い、一枚一枚手作りしたのれんです。お披露目は今年で2年目。小名浜本町通りの定西側に50枚が飾られました。4日は雨のため飾られませんが、毎年続けて行きたいと思っています。



6/1 棧敷席チケット販売開始

第63回いわき市制施行50周年記念大会が8月6日(土)に開催されます。今年はいわき市制施行50周年、小名浜港開港60周年の節目の年にあたり、その記念事業として盛大に開催される予定です。前日5日(金)のいわきおどり小名浜大会、7月30日(土)31日(日)おなまはま海遊祭とあわせて小名

一 小名浜まちづくり市民会議員の皆様へー **第15期定時総会開催のご案内**
5月26日午後6時より、小名浜朝日交流館において、小名浜まちづくり市民会議員第15期定時総会を開催します。総会では平成27年度事業報告、収支決算報告の後、平成28年度事業計画案、収支予算案が審議されます。また、総会後には 榎福島ガイナックス代表取締役の浅尾芳宣氏をお招きし「アニメによるまちづくり(仮)」と題して、ご講演をいただきますので、会員の皆様はお誘い合わせのうえご来場ください。

浜の夏を盛り上げます。今年から花火大会の棧敷席の販売方法が変わります。6月1日より小名浜美食ホテル1階特設売場での販売となります。小名浜まちづくりステーションでの販売はいたしませんのでお間違いないようにお願いいたします。今年も小名浜の夏祭りにご期待下さい!!

5月3日、晴天のもと恒例の小名浜諏訪神社例大祭本祭が行われました。御神輿が練り出す中、お祭りの賑やかさを盛り上げるかのように大漁旗が小名川沿いにはためき、かつての港町小名浜を思い起こさせる風景に出会いました。また、ふと、目を転じると本町通りの西側エリアに「しあわせのれん」がはためいていたことにお気づきの方も多かったはず。くぐれば幸せを運んでくるといわれる美しい彩のしあわせのれんが港町小名浜を彩ってくれていました。勇壮な男を感じ、「大漁旗」優美で優しさを感じる「しあわせのれん」。東西の二つの文化に挟まれ小名浜の祭りも次世代へ向け出港し始めたようです。(著・F・O)

めまろの囃き

まちづくりステーション info	
4/9	まちづくり市民会議お花見
4/18	中活法特別委員会
4/26	全体会議
5/6	中活法進捗状況報告(市長訪問)
5/9	いわき小名浜みなとオアシス総会
5/16	中活法特別委員会
5/26	第15期定期総会

小名浜まちづくり市民会議とは...

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

市民会議では随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請 してね!

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3,000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは： いわき市小名浜字本町11-1(まちづくりステーション小名浜)
TEL: 52-1275 FAX: 52-1415
http://www.onahama.jp/ E-mail: info@onahama.jp

この広報物は、小名浜地区行政嘱託員(区長)連合会の御協力により配布しております。